

「新制服に思いを託す」 "Shizuoka presence - new uniform"

静岡県バドミントン協会 理事長 杉山敏充

令和2年2月2日、静岡県バドミントン協会創立70周年記念式典が(公財)日本バドミントン協会、東海バドミントン連盟を始め県内多くの来賓、関係者をお迎えし厳粛にして盛大に執り行われました。

本会は、1949年(昭和24)4月に創設、昭和、平成の時を経て令和元年という新元号の記念すべき年に70年の歴史を刻むこととなりましたが、先人の皆様のご努力とご功績に改めて尊敬の念を抱くものでございます。



記念式典開式宣言する杉山理事長

さて、今回、本記念事業の「実行委員会」委員長を引き受けるに当たり、この70年間の歴史の重み、深さを切実に受け止めつつもどのような形の式典にすべきなのか、先人の築かれた偉大な功績にどのように報い敬意を表すべきか、そして協会の今後更なる発展、未来に向けての決意として何が相応しく最適であるのか途轍もない大きな難題に直面することとなったのであります。

折しも本会の誕生は奇しくも私が産声を上げた年と重なり古希を迎えた自分にとってその巡り合わせは殊の外、感慨深さを感じつつもその重責に身の引き締まる思いでもありました。

現在、本会の役員、加盟の各連盟、市町協会、専門委員会委員の皆様はもとより県内の登録会員数は4,000名を僅かに超える、団体に成長を遂げてはいるものの東海エリアの4県と比較計すると愛知県(13,500)、岐阜県(5,300)、三重県(5,000)の中では残念ながら一番会員登録数の少ない県となっているのであります。

因みに、東海エリアの人口統計は2019年に於いて愛知県750万、岐阜県203万、三重県182万、静岡県370万という分布状況であることから現時点ではエリア各3県に甘んじているが取り組み方次第ではまだまだ普及の可能性を多く含んだ静岡県であると思っております。

そこで、静岡県バドミントン協会として会員の確保、増員についての方策は様々考えられるとは思いますが、一つには世界で活躍する選手の輩出、メジャーな大会の誘致、幼年期(5歳まで)、少年期(6~14歳)に当たるジュニア層の取り込みがその大きな要素となる。

二つ目には地理的に東西の長い静岡県に於いて現状の会員分布は東部地区に集中していることから、中部、西部地区の拡大にある。また、本会加盟の市町協会についてもやはり東部地区に集中しており中部・西部地区はごく僅かでしかないのが実態である。

三つ目には先に述べたジュニアの拡大を睨んだ方策であるが、越年の課題として学校管理下における中学校部活動の拡大は極めて有効手段であるが少子化による他競技団体種目への影響もあって難題である。

ならばどうするのかという事になるが、それは「ジュニア・クラブ」の拡大である。現在、ジュニア・クラブ数は18チームでやはり東部に集中している。ジュニアの育成について県小学生連盟はもとより、指導普及委員会における「ジュニア育成アカデミー」が三島地区を皮切りに駿東地区、中部地区に広がりをを見せているが今後は中部、西部地域への広がりに期待を寄せたい。

ジュニアの育成に関してはスポーツ医科学的な一貫指導体系の下に行われる必要があるが本会は全国でもトップレベルの優秀な公認スポーツ指導者数を誇る競技団体でもあることからこの有資格者によるクラブの立ち上げに期待をせずにはいられない。

以上、これら幾多の課題に向けては今までの長い間、東部地区中心の各事業、各種大会、ジュニア育成等々であったがこれを県下全域に満遍なく推し進める努力こそが会員拡大の要であると確信するのである。そのためには私たち一人一人が東・中・西のより良い交流と親睦に繋がるイベントの企画、研修会、バドミントン・フォーラムの開催など目に見え形となる活動が欠かせないものとなるのであり、今回、実行委員会はこの70周年を節目に「オール静岡(一致団結)」の象徴として県協会「新制服(ユニフォーム)」の製作に掛かりました。

言うまでもなく、この「ユニフォーム」が東部・中部・西部の一丸体制としての大きな意義、役割を担うものとなることを期待して作られたものであります。

今後、100周年に向けて、そして輝く未来への希望の「シンボル・ユニフォーム」として会員の皆様に広くご愛用いただきますよう切願するものでございます。

"Brand new Shizuoka Uniform"



記念式典の様子



中山様・天野様に新制服をプレゼント

創立70周年記念式典 ◇◇◇創立70周年記念式典 受付の様子◇◇◇



◇◇◇創立70周年記念式典 表彰の様子◇◇◇



特別功労賞受賞者

石川 博義
上野 忠
内田 壽夫

(順位不同敬称略)



公益財団法人日本バドミントン協会 副会長 山田 順一郎様より挨拶



特別功労賞・功労賞 受賞者記念写真

功労賞受賞者

吉氷 将史	眞 浩之	富田 浩司
小田切 希芳	高井 保典	井手 昌子
小島 一郎	岩城 保久	宮原 和臣
深澤 聡	広田 正子	荒井 威雄
大石 恵司	望月 文男	望月 覚
長島 稔	岩沢 猛	土屋 剛彦
古郡 文博	平野 謙武	渥美 早苗
宮崎 寿夫	神田 いずみ	加藤 朝海
佐野 明彦	斉藤 勲	川口 康司
渡邊 高博	若松 誠	(順位不同敬称略)

創立70周年記念祝賀会



祝宴コンサート 津軽三味線・静大プラスバンド



銭谷専務理事と70周年記念実行委員